

令和4年度 小金井市地域課題分析・評価シート（ひがし エリア）

I. 地域課題と考えられる課題

1. **小** **総** 情報が行き届いていない。
「生活に関わる内容」や「話ができる居場所」等の相談がある。
2. **小** **総** 生活に係るちょっとした困り事がある。
「ゴミ出しができない」「電球交換ができない」等。

根拠情報

- ニ**：ニーズ調査
- 小**：小地域ケア会議
- 個**：個別地域ケア会議
- 総**：総合相談
- 他**：その他（懇談会・2層協議体）

II. 考えられる背景（高齢者等要因）

1. 情報を知らない。
 - ・感染症の影響もあり、外出控えにより情報が入らない。
 - ・もともと、情報を知らない。
 - ・情報収集の方法が限定される。（口コミや紙媒体）
2. 高齢者のひとり暮らし（夫婦のみ）、生活面に支障が出ても家族に頼めない、疎遠。コロナ禍による孤立、近所（町会）や知人との交流の減少。

地域課題の変化（結果評価）【年度末に記載】

1. 継続して情報誌の配架及び自治会や関係機関へ情報誌の配布を行った。LINE公式アカウントを取得し、LINEによる情報発信を行った。
2. 自治会と2層協議体を開催し、地域や自治会の状況把握を行った。「お金の管理」の課題に対し、地域住民とWSに参加したり、パンフレット・啓発について検討を行った。

III. 考えられる背景（環境要因）

1. 情報収集の方法が分からない（誰に、どこに相談したらよいか、等）。
 - ・活用できる、情報をまとめた情報誌やリストを知らない。
 - ・オンラインツールに対して相談する場がない。
2. 一人暮らし（夫婦のみ世帯）の為、自身の体調により困難が生じることがある。近くに気軽に頼める知り合いがいない。

※ **地域課題とは**：地域の複数の人々（将来的に複数になる可能性が高い場合も含む）に普遍的な影響を及ぼすと考えられ、社会的に対応する必要があると合意される生活課題

令和4年度 小金井市地域課題対応活動計画・評価シート（ひがし エリア）

活動目標

1. 包括の周知及び有益な情報の発信方法として情報誌を配布する。
（社会資源情報誌を加工した物）
2. 活動団体の活動支援や地域活動グループを訪問し情報収集を図る。
3. 総合相談において課題の定着化を目指す。
4. 2層協議体を開催し、課題検討を行う。
（情報発信の方法・オンラインツールの活用の検討。）



活動目標の達成状況（結果評価）

1. 情報誌配架を行い。情報発信を行った。
2. 活動団体を訪問し、活動状況や地域課題等、情報収集を行った。
3. 包括内での地域課題抽出を行った。
4. 2層協議体の開催、課題検討を行った。またLINE公式アカウントの取得を行った。「お金の管理」について、サロンに訪問し朗読劇の啓発活動を行った。

手段	H31	R2	R3	R4	R5	結果
① 応援ブック、応援マップ、ひがし包括情報紙の配布・配架及び活用を行う。 社会資源情報の収集を行う。						情報誌配架及び自治会・関係機関へ情報誌の配布を行った。活動団体を訪問し、情報集を行った。
② 感染症により活動団体への訪問が行えず、関係性が希薄化している為、積極的に訪問を行い、顔の見える関係性を持続する。						活動団体へ訪問し、包括の周知及び運営支援を行った。
④ 2層協議体を開催する。オンラインツール活用の検討の為ニーズ把握等のアンケートの実施、 スマホ講座開催協力。						事前にアンケート調査を実施し、ニーズ把握を行った上でLINE公式アカウントを取得。 2層協議体の実施。スマホサポーター講座へ出向き、顔合わせを行った。
③ 通常の相談時から課題抽出を行う。町会、民生委員からも情報を得る。						課題抽出を総合相談等から行った。2層協議体等により地域課題抽出を行った。

※ **活動目標とは：** IIとIIIを背景とする地域課題と考えらえる課題Iを解決するために、活動すべきだと考えられること。

※ **手段とは：** この活動目標を達成するための具体的な手段・方法。

令和5年度 小金井市地域課題分析・評価シート（ひがし エリア）

I. 地域課題と考えられる課題

1. **他** **総** **二** 情報が行き届いていない。
生活に関わる事柄から多岐にわたる相談がある。
情報発信の方法に課題がある。
2. **小** **総** **二** 生活に係るちょっとした困り事がある。
「入浴ができる場所がない」「ペットの世話について」等。
3. **総** **他** 誰もが気軽に立ち寄れる居場所がない。
(年齢、障がい等関係なく)
男性が集える場所、活動が少ない。

根拠情報

- 二**：ニーズ調査 **小**：小地域ケア会議
個：個別地域ケア会議 **総**：総合相談
他：その他（懇談会・2層協議体）

II. 考えられる背景（高齢者等要因）

1. 情報を知らない。
 - ・ 知りたい情報が多様な為、どこに相談したら良いか不明。
 - ・ もともと、情報を知らない。
 - ・ 情報収集の方法が限定される。（口コミや紙媒体）
2. 高齢者のひとり暮らし（夫婦のみ）、健康不安や体力低下。
3. 居場所について知らない。歩いて行かれる地域が限定される。
居場所の減少。

地域課題の変化（結果評価）【年度末に記載】



III. 考えられる背景（環境要因）

1. 活用できる、情報をまとめた情報誌やリストを知らない。
身近にない。
2. 住環境面が課題となることがある。
3. 居場所に活用できる場所がない、少ない。遠い。

※ **地域課題とは**：地域の複数の人々（将来的に複数になる可能性が高い場合も含む）に普遍的な影響を及ぼすと考えられ、社会的に対応する必要があると合意される生活課題

令和5年度 小金井市地域課題対応活動計画・評価シート（ひがし エリア）

活動目標

1. 包括の周知及び情報発信として情報誌配布やLINE配信を継続する。
2. 活動団体の活動支援や地域活動グループを訪問し情報収集を図る。
3. 新規居場所の立ち上げ。
4. 2層協議体を開催し、自治会・活動団体、地域住民地域課題について検討を行う。
5. 「お金の管理」啓発活動を1.2SC連携し、地域住民に向けて行う。



活動目標の達成状況（結果評価）

--

手段	R2	R3	R4	R5	R6	結果
① 応援ブック・マップ、ひがし包括情報紙の配布・配架及び活用を行う。LINEによる配信。社会資源情報の収集を行う。					→	
② 活動団体へ訪問を行い、顔の見えるつながりを継続する。		→			→	
④ 2層協議体の開催。 新規居場所の立ちあげや活動再開・運営支援を行う。					→	
③ 総合相談等から課題抽出を行う。町会、民生委員からも情報を得る。					→	
⑤ 圏域毎の公民館を活用し「お金の管理」の啓発活動を行う。			→	→		

※ **活動目標とは**：ⅡとⅢを背景とする地域課題と考えられる課題Ⅰを解決するために、活動すべきだと考えられること。

※ **手段とは**：この活動目標を達成するための具体的な手段・方法。